

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	< C 区分 > 阿倍野駅自転車駐車場、昭和町駅自転車駐車場、寺田町駅自転車駐車場、天王寺駅自転車駐車場、西田辺駅自転車駐車場、文の里駅自転車駐車場、北加賀屋駅自転車駐車場、住ノ江駅自転車駐車場、住之江公園駅自転車駐車場、岸里駅自転車駐車場、岸里玉出駅自転車駐車場、天下茶屋駅自転車駐車場、花園町駅自転車駐車場、あびこ駅自転車駐車場、我孫子前駅自転車駐車場、粉浜駅自転車駐車場、沢ノ町駅自転車駐車場、杉本町駅自転車駐車場、住吉大社駅自転車駐車場、住吉東駅自転車駐車場、玉出駅自転車駐車場、帝塚山駅自転車駐車場、JR我孫子町駅自転車駐車場
施設所管課・担当	建設局企画部方面調整課（自転車対策担当）
条例上の設置目的	駅周辺並びに公共の場所における自転車、原動機付自転車及び自動二輪車（以下「自転車等」という。）の放置による危険又は障害を解決する手段の一つとして設けている本市の有料自転車駐車場（以下「有料駐輪場」という。）について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項及び大阪市立有料自転車駐車場条例（平成18年条例第87号。以下「条例」という。）第5条の規定に基づき、有料駐輪場の設置を目的としている
業務の概要	・市立有料自転車駐車場の管理運営に関すること ・有料自転車駐車場及び附帯施設の維持保全業務
成果指標	・市民サービスの向上に伴う利用満足度
数値目標	利用満足度：利用満足度のアンケート結果のうち85％以上
指定管理者名	サイカパーキング連合体
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用満足度
数値目標	85％
年度実績	98.4％
達成率	115.8％

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用台数(定期)	181,428	183,170	△ 1,742
利用台数(一時)	2,123,183	2,069,177	54,006
利用率（定期）	72.0％	72.5％	△0.5％
利用率（一時）	99.0％	96.6％	2.4％

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	－	－	－	
	計画	－	－		
利用料金収入	実績	554,411,680	543,466,790	△ 15,533,320	新型コロナウイルスの影響でテレワークが普及し、利用者が減少したため。
	計画	569,945,000	569,945,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	－	－	－	
	計画	－	－		
合計	実績	554,411,680	543,466,790	△ 15,533,320	
	計画	569,945,000	569,945,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	246,127,739	232,078,887	9,312,739	機械化できない箇所に関する労働時間が増加したため。
	計画	236,815,000	230,225,000		
管理費	実績	320,443,413	281,634,427	27,414,413	修繕費用が増加したため。
	計画	293,029,000	298,279,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	－	－	－	
	計画	－	－		
合計	実績	566,571,152	513,713,314	36,727,152	
	計画	529,844,000	528,504,000		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用満足度	115.8%	A	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
本市からの支出を0とし、かつ本市に納付金を納めている	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

実施内容（質問項目）：（駐輪場の利用しやすさ、整理、清掃、管理員の挨拶、対応、誘導、配置人数）
調査方法（期間）：セルフモニタリング（良い・普通・悪いの3段階評価） 住吉東駅を除く全駐輪場（令和5年1月15日～1月31日）
回答率：45.7％ （住吉東駅を除く22駅（配布2,500枚 回収1,143枚））
結果：良い・普通 98.4％ 悪い1.6％

6 外部専門家意見

・利用状況が前年度と比べ全体として若干増加しており、満足度も高い数値である点が評価できる。一方、定期利用の停滞は今後も継続することが明らかである。併せて物価上昇に伴う管理費の高騰も予想される。以上のことを踏まえ、管理者による人的・物的環境改善だけではなく、行政サイドも交えた今後の検討が必要と考える。
・前年度比較では利用率が定期は低下、一時利用は増加している。計画比較では収入は△15,533千円(△2.7%)、支出＋36,727千円(＋6.9%)、収支△52,260千円となっている。特に支出面は計画時から市場環境が大きく変わりやむを得ない面も考えられるが、収入面は抜本的・具体的な改善策が必要である。計画時と各駅の人流同行を比較し、本当に駅利用者が減少しているか検証する必要がある。
また、一時利用は100%超が複数箇所あり全体的に利用率は高いが、定期利用は35％～80％以下も多数ある。設置箇所ごとのニーズの把握を行い、従業員の利用促進を含めた企業との定期契約、レンタルサイクル事業者との提携等も視野に計画達成に対する具体的な施策が必要である。(管理員による定期利用の呼びかけだけでなく、上位レベルでの活動営業が必要)

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・アンケートの結果において「非常に良い・良い・普通」評価の割合が98.4%であった。 ・新たに導入したQR度数券については、相互利用できる駅が増えたことで、評価する意見がある一方、読み込みに時間がかかるとの意見もあり、サービス向上を利用者がより実感できるような管理運営に努められたい。
市費の縮減	B	・利用促進策等を実施することで、提案通りの基本納付金額を納め、計画通りの市費縮減効果を得ている。
管理運営の履行状況	B＋	・放置自転車啓発活動を区役所、地元協議会、関係各所と実施し、放置自転車対策に寄与した。 ・工事に伴い施設の一部が支障になったが、利用者が溢れることのないよう対応し、放置自転車対策に寄与した。 ・管理人等の研修を当初計画どおり実施した。 ・就職困難者の雇用への取組みについては、約4名不足しているため、新規採用促進に努められたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	・啓発活動への多数の参加は大きく評価できる。 ・利用者の利便性向上などにおいて継続的な改善を実施しており、今後も、さらなるサービスの向上を図り、利用促進に努められたい。